都市再生整備計画 事後評価シート 糸島市中心市街地地区

平成31年3月

福岡県糸島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名 糸島市				t	地区名 糸島市			市中心市街地地[X	面積	284ha	
交付期間	平成26~30年度		事後評価実		7			付象事業費	2,315		国費率	0.432			
			事業名												
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、	基幹事業	公園(前原北公園)、既存建造物活用事業(多目的ホール、伊都文化会館、市立図書館)												
	実施した事業	提案事業	-												
			事業名						削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業													
		提案事業							你们 内山 宝的刀 (************************************						
	新たに追加し た事業	基幹事業	浦志自由通路線整備事業、浦志南北交通広場整備事業						かっ快適な移動空間を確保し、交通結節点としての強化を図り、駅利用者の利便性 向上や南北地域の交流、回遊性の向上に寄与するため事業を追加。				指標「区域内の公共交通利用者数」及び数値目標を追加。20%増を図る。 従前値:14,300人/日(H26) 目標値:17,220人/日(H31)		
		基幹事業	新駅北口停車場線、小森柱田線						保し、パークアンドライドの促進を図るため事業を追加。				指標「区域内の公共交通利用者数」及び数値目標を追加。20%増を図る。 従前値:14,300人/日(H26) 目標値:17,220人/日(H31)		
		基幹事業	笹山公園						前原校区の住民一人当たり公園面積が十分でない中、既存の笹山 公園に隣接する土地の購入ができたため事業を追加。				-		
		基幹事業	前原北公園						早期完成を求める地元要望に基づき、計画期間を繰り上げ(H27 H26)				-		
		提案事業													
	交付期間 の変更	当 初 変 更				交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況		指標	i"	従前(単位		重 基準年度	目標値 度 目標年度		数 モニタリング	値 評価値	目標 1年以内の 達成度 達成見込み		効果発現要因 (総合所見)		フォローアップ 予定時期
	指標1	図書館貸出冊数		冊/年	476,686	H23	500,000	H27		496,641		あり なし	目標年度は未達成であったが 出冊数590,000冊で目標数値を	、翌H28年度は貸 を大き〈上回った。	-
	指標2	文化施設利用者数		人/年	105,463	H24	115,000	H29		98,127		あり なし	多目的ルームの整備により、/ 名)のイベントが開催しやすくた 年度のH29年度までには達成し も対前年度比で微増の状況で	いった。しかし、目標 に至らず、H30年度 ある。	H31年5月
	指標3	区域内の公共交通利用者 数		人/日	14,300	H26	17,220	H31		15,184		あり なし	国道から新駅へのアクセス道路・ 整備により利便性と安全性が確保 の利便性が向上した。駅が開業で 者数推計は18,400人であり、目標 る。	Rされ、交通結節点 するH31年度の利用	H32年8月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標			単位	従前値	<u>重</u> 基準年度	目標作	値 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要 (総合所見		フォローアップ 予定時期
	その他の数値指標1														
	その他の 数値指標2														
	その他の数値指標3														
4)定性的な効果	20 IE 18 1 W				į	L				1					
発現状況			実施内容					実施状況				今後の対応方針等			
5)実施過程の評価	モニタリン	ング	都市再生整図書館利用者アンケートの実施 都市再生整					を備計画に記載し、実施できた。				図書館利用に関する意見を徴取し、随時対応することとし、利用者度向上を図る。			
	住民参プロセ		都市再生整 筑肥線新駅建設促進会を設置 都市再生整 都市再生整						帰計画に記載したが、実施できながった 備計画に記載し、実施できた 備計画に記載しなかったが、実施した 備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なま 体制の権		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載しなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												

様式2-2 地区の概要



筑前前原駅と波多江駅間に、糸島高校前駅を新設し、自由通路、駅前広場の整備と併せて前原東土地区画整理事業を実施したことにより新たな市街地を形成した。

サイン整備により、市内に点在する観光スポット間をスムーズに回遊させることができるようになった。 (残された未解決の課題)

新駅設置により、駅へ通じる周辺道路の拡幅及び歩道設置等の新たな道路整備が必要となった。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

図書館については、通常の貸出サービスのみならず、分館等との連携(相互貸借)、図書館講演会等の事業展開により、更なる図書館の利活用を図る。 伊都文化会館・多目的ホールについては、文化会館指定管理者の自主事業実施により、更なる利活用を図る。

新駅(糸島高校前駅)については、バスやタクシーなどの二次的交通との連携(駅前広場への乗入れ)により、自由通路・駅前広場の利用者増を図る。

新駅南側より駅へ向かう幹線道路「市道浦志有田線」の歩道設置や新駅に通じる国道202号の北側市道の拡幅など、交通動線に配慮して駅利用者の安全性の向上を図る。

区画整理事業区域内については、今後、自動車・歩行者の交通量の増加に伴い、警察と協議して横断歩道及び信号の設置について検討が必要となる。